

肝臓に関する傷害—複数の作用.

-----文 献-----

CNREA8 Cancer Research. (Public Ledger Building, Suit 816, 6th & Chestnut Sts., Philadelphia, PA 19106). [Vol.,頁,年] 29,236,1969

試験方法 : LD<sub>50</sub>(50%致死量)試験.  
曝露経路 : 腹腔内投与.  
被験動物 : げっ歯類-ハムスター.  
投与量・期間 : 6 mg/kg  
毒性影響 : 致死量以外に毒性影響に関する報告はない.

-----文 献-----

ARPAAQ Archives of Pathology. (Chicago, IL) V.5(3)-50(3), 1928-50; V.70-99, 1960-75. For publisher information, see APLMAS. [Vol.,頁,年] 83,53,1967

試験方法 : LD<sub>50</sub>(50%致死量)試験.  
曝露経路 : 報告なし.  
被験動物 : げっ歯類-ハムスター.  
投与量・期間 : 10200  $\mu$  g/kg  
毒性影響 : 致死量以外に毒性影響に関する報告はない.

-----文 献-----

YAKUD5 Gekkan Yakuji. Pharmaceuticals Monthly. (Yakugyo Jihosha, Inaoka Bldg., 2-36 Jinbo-cho, Kanda, Chiyoda-ku, Tokyo 101, Japan). [Vol.,頁,年] 23,1327,1981

試験方法 : LD<sub>50</sub>(50%致死量)試験.  
曝露経路 : 報告なし.  
被験動物種 : 鳥類(家禽類) - ニワトリ.  
投与量・期間 : 6300  $\mu$  g/kg  
毒性影響 : 致死量以外に毒性影響に関する報告はない.

-----文 献-----

YAKUD5 Gekkan Yakuji. Pharmaceuticals Monthly. (Yakugyo Jihosha, Inaoka Bldg., 2-36 Jinbo-cho, Kanda, Chiyoda-ku, Tokyo 101, Japan). [Vol.,頁,年] 23,1327,1981

試験方法 : LD<sub>50</sub>(50%致死量)試験.  
曝露経路 : 経口投与.  
被験動物 : 鳥類(家禽) - アヒル.  
投与量・期間 : 335  $\mu$  g/kg  
毒性影響 : 致死量以外に毒性影響に関する報告はない.

-----文 献-----

PSEBAA Proceedings of the Society for Experimental Biology and Medicine. (Academic Press, Inc., 1 E. First St., Duluth, MN 55802) [Vol.,頁,年] 123,151,1966

試験方法 : LD<sub>50</sub>(50%致死量)試験.  
曝露経路 : 報告なし.  
被験動物 : 鳥類(家禽)-アヒル.  
投与量・期間 : 335  $\mu$  g/kg  
毒性影響 : 致死量以外に毒性影響に関する報告はない.

-----文 献-----

JJTOEX Japanese Journal of Toxicology. (Yakugyo Jihosha, Hokushin Bldg., 2-36 Jinbo-cho, Kanda, Chiyoda-ku, Tokyo, 101, Japan). [Vol.,頁,年] 2,377,1989

試験方法 : 認知されている最低致死量に関する試験.  
曝露経路 : 経口投与.  
被験動物 : 哺乳動物 家畜.  
投与量・期間 : 2 mg/kg  
毒性影響 : 行動に関する傷害: 痙攣または発作閾値への影響  
肺, 胸郭, または呼吸に関する傷害: 呼吸刺激.  
胃腸に関する傷害-運動亢進, 下痢.

-----文 献-----

NATUAS Nature. (Nature Subscription Dept., POB 1018, Manasquan, NJ 08736)  
[Vol.,頁,年] 225,1062,1970

試験方法 : LD<sub>50</sub>(50%致死量)試験.  
曝露経路 : 報告なし.  
被験動物 : 哺乳動物 家畜.  
投与量・期間 : 1 mg/kg  
毒性影響 : 致死量以外に毒性影響に関する報告はない.

-----文 献-----

YAKUD5 Gekkan Yakuji. Pharmaceuticals Monthly. (Yakugyo Jihosha, Inaoka Bldg., 2-36 Jinbo-cho, Kanda, Chiyoda-ku, Tokyo 101, Japan). [Vol.,頁,年] 23,1327,1981

-----\*\* その他の多回投与試験 \*\*-----

試験方法 : TDLo (最低投与量)-最小毒性量  
曝露経路 : 経口投与.  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量・期間 : 500  $\mu$  g/kg/14 日間間欠投与  
毒性影響 : 栄養と総代謝に関する傷害-体重減少または体重増加  
慢性データ関連に関する傷害-前立腺重量の変化  
慢性データ関連に関する傷害-睾丸重量の変化

-----文 献-----

ETPAEK Experimental and Toxicologic Pathology (Gustav Fischer Verlag Jena, Postfach 100537, D-07705 Jena, Germany). [Vol.,頁,年] 50,221,1998

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 腹腔内投与.  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量・期間 : 672  $\mu$  g/kg/6 週間間欠投与  
毒性影響 : 脳と外被に関する傷害 : 脳重量の変化  
生化学に関する傷害 - 酵素の阻害・誘導・血液・組織中濃度の変化  
: 複数の酵素への作用

-----文 献-----

TXCYAC Toxicology. (Elsevier Scientific Pub. Ireland, Ltd., POB 85, Limerick, Ireland). [Vol.,頁,年] 28,247,1983

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 腹腔内投与.  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量・期間 : 8400  $\mu$  g/kg/8 週間間欠投与  
毒性影響 : 肝臓に関する傷害 - その他の変化.  
生化学に関する傷害 - 酵素の阻害・誘導・血液・組織中濃度の変化  
: 複数の酵素への作用  
生化学に関する傷害 - 代謝(中間体) : その他の影響.

-----文 献-----

BCTKAG Bromatologia i Chemia Toksykologiczna. (Ars Polona, POB 1001, 00-068 Warsaw 1, Poland). [Vol.,頁,年] 21,207,1988

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 報告なし.  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量・期間 : 9 mg/kg/6 週間間欠投与  
毒性影響 : 血液に関する傷害 - 凝固因子の変化.  
血液に関する傷害 - 赤血球数の変化.  
血液に関する傷害 - 白血球数の変化.

-----文 献-----

IJEB6 Indian Journal of Experimental Biology. (Publications & Information Directorate, CSIR, Hillside Rd., New Delhi 110 012, India). [Vol.,頁,年] 13,569,1975

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 経口投与.  
被験動物 : げっ歯類-マウス.

投与量・期間：4900  $\mu$  g/kg/2 週間間欠投与  
毒性影響：血液に関する傷害－赤血球数の変化。  
血液に関する傷害－白血球数の変化。  
免疫（含アレルギー）に関する傷害－細胞性免疫反応の低下。

-----文 献-----

TXCYAC Toxicology. (Elsevier Scientific Pub. Ireland, Ltd., POB 85, Limerick, Ireland). [Vol.,頁,年] 43,123,1987

試験方法：TDL<sub>0</sub>（最低投与量）-最小毒性量  
曝露経路：経口投与。  
被験動物：げっ歯類-マウス。  
投与量・期間：9800  $\mu$  g/kg/4 週間間欠投与  
毒性影響：血液に関する傷害－白血球数の変化。  
免疫（含アレルギー）に関する傷害－細胞性免疫反応の低下。

-----文 献-----

TOXID9 Toxicologist. (Soc. of Toxicology, Inc., 475 Wolf Ledge Parkway, Akron, OH 44311). [Vol.,頁,年] 5,6,1985

試験方法：TDL<sub>0</sub>（最低投与量）-最小毒性量  
曝露経路：経口投与。  
被験動物：げっ歯類-ウサギ。  
投与量・期間：250  $\mu$  g/kg/5 日間間欠投与  
毒性影響：生化学に関する傷害－酵素の阻害・誘導・血液・組織中濃度の変化  
：肝ミクロソーム混合オキシダーゼ(脱アルキル化，ヒドロキシル化など)。  
生化学に関する傷害－酵素の阻害・誘導・血液・組織中濃度の変化  
：その他のトランスフェラーゼ。  
生化学に関する傷害－特定の補酵素への作用：イソ酵素の比率。

-----文 献-----

TXCYAC Toxicology. (Elsevier Scientific Pub. Ireland, Ltd., POB 85, Limerick, Ireland). [Vol.,頁,年] 108,39,1996

試験方法：TDL<sub>0</sub>（最低投与量）-最小毒性量  
曝露経路：経口投与。  
被験動物：げっ歯類-ウサギ。  
投与量・期間：900  $\mu$  g/kg/15 日間間欠投与  
毒性影響：肝臓に関する傷害－瀰漫性肝炎(肝細胞壊死)。  
血液に関する傷害－凝固因子の変化。  
慢性毒性に関するデータ－死亡。

-----文 献-----

VTPHAK Veterinary Pathology. (Waverly Press, Inc., POB 64025, Baltimore, MD 21264)  
[Vol.,頁,年] 24,62,1987

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 経口投与.  
被験動物種 : 哺乳類 - ブタ.  
投与量・期間 : 974  $\mu$  g/kg/15 週間継続投与  
毒性影響 : 血液に関する傷害 - 血清成分の変化 (たとえば TP, ビリルビン,  
コレステロール)  
生化学に関する傷害 - 酵素の阻害・誘導・血液・組織中濃度の変  
化 : ホスファターゼ.  
生化学に関する傷害 - 代謝 (中間体) : 輸送を含む脂質.

----- 文 献 -----

TXAPA9 Toxicology and Applied Pharmacology. (Academic Press, Inc., 1 E. First St.,  
Duluth, MN 55802). [Vol.,頁,年] 15,393,1969

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 報告なし.  
被験動物種 : ほ乳類-ハムスター.  
投与量・期間 : 2100  $\mu$  g/kg/6 週間間欠投与  
毒性影響 : 血液に関する傷害 - 凝固因子の変化.  
血液に関する傷害 - 赤血球数の変化.  
血液に関する傷害 - 白血球数の変化.

----- 文 献 -----

IJEBA6 Indian Journal of Experimental Biology. (Publications & Information Directorate,  
CSIR, Hillside Rd., New Delhi 110 012, India). [Vol.,頁,年] 13,569,1975

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 経口投与.  
被験動物種 : 鳥類 (家禽類) - ニワトリ.  
投与量・期間 : 2940  $\mu$  g/kg/3 週間継続投与  
毒性影響 : 肝臓に関する傷害 - その他の変化.  
肝臓に関する傷害 - 肝臓重量の変化.  
生化学に関する傷害 - 代謝 (中間体) : 凝固に関与しない血漿蛋白.

----- 文 献 -----

PSEBAA Proceedings of the Society for Experimental Biology and Medicine. (Academic  
Press, Inc., 1 E. First St., Duluth, MN 55802) [Vol.,頁,年] 134,683,1970

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 経口投与.

被験動物種 : 鳥類 (家禽類) - ウズラ.  
投与量・期間 : 672  $\mu$  g/kg/6 週間継続投与  
毒性影響 : 肝臓に関する傷害 - 肝臓重量の変化.  
生化学に関する傷害 - 代謝 (中間体) : 凝固に関与しない血漿蛋白.  
栄養と総代謝に関する傷害 - 体重減少または体重増加.

-----文 献-----

PSEBAA Proceedings of the Society for Experimental Biology and Medicine. (Academic Press, Inc., 1 E. First St., Duluth, MN 55802) [Vol.,頁,年] 134,683,1970

試験方法 : TDLo (最低投与量) - 最小毒性量  
曝露経路 : 経口投与.  
被験動物種 : 鳥類 (家禽類) - ダチョウ.  
投与量・期間 : 1008  $\mu$  g/kg/3 週間継続投与  
毒性影響 : 肝臓に関する傷害 - その他の変化.  
肝臓に関する傷害 - 肝臓重量の変化.  
生化学に関する傷害 - 代謝 (中間体) : 凝固に関与しない血漿蛋白.

-----文 献-----

PSEBAA Proceedings of the Society for Experimental Biology and Medicine. (Academic Press, Inc., 1 E. First St., Duluth, MN 55802) [Vol.,頁,年] 134,683,1970

\*\* 催腫瘍性に関するデータ \*\*

試験方法 : TDLo (最低投与量) - 最小毒性量  
曝露経路 : 経口投与.  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量・期間 : 380  $\mu$  g/kg/68 週間継続投与  
毒性影響 : 催腫瘍性 - RTECS 基準による発ガン性  
肺, 胸郭, または呼吸に関する傷害 - 腫瘍.  
肝臓に関する傷害 - 腫瘍.

-----文 献-----

CNREA8 Cancer Research. (Public Ledger Building, Suit 816, 6th & Chestnut Sts., Philadelphia, PA 19106). [Vol.,頁,年] 27,2370,1967

試験方法 : TDLo (最低投与量) - 最小毒性量  
曝露経路 : 腹腔内投与.  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量・期間 : 2 mg/kg 雌 18-21 日間 (交配後)  
毒性影響 : 催腫瘍性 - RTECS 基準による発ガン性  
生殖に関する傷害 - 催腫瘍性 : 経胎盤催腫瘍性  
内分泌に関する傷害 : 腫瘍.

-----文 献-----

JJIND8 JNCI, Journal of the National Cancer Institute. (Washington, DC) V.61-79,  
1978-87. For publisher information, see JNCIEQ. [Vol.,頁,年] 64,1349,1980

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 腹腔内投与.  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量・期間 : 6 mg/kg/8 週間間欠投与  
毒性影響 : 催腫瘍性 - RTECS 基準による発ガン性  
肝臓に関する傷害 - 腫瘍.

-----文 献-----

CNREA8 Cancer Research. (Public Ledger Building, Suit 816, 6th & Chestnut Sts.,  
Philadelphia, PA 19106). [Vol.,頁,年] 31,1936,1971

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量・期間 : 800  $\mu$  g/kg/10 週間間欠投与  
毒性影響 : 催腫瘍性 - RTECS 基準による発ガン性  
肝臓に関する傷害 - 腫瘍.  
催腫瘍性 - 適用部位の腫瘍.

-----文 献-----

CNREA8 Cancer Research. (Public Ledger Building, Suit 816, 6th & Chestnut Sts.,  
Philadelphia, PA 19106). [Vol.,頁,年] 35,3811,1975

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 静脈内投与.  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量・期間 : 8 mg/kg 雌 15 日間(交配後)  
毒性影響 : 催腫瘍性 - RTECS の基準による「あいまいな証拠」に基づく催腫  
瘍物質  
生殖に関する傷害 - 催腫瘍性 : 経胎盤催腫瘍性  
皮膚と付属器官に関する傷害 - 腫瘍.

-----文 献-----

米国国立ガン研究機関(IARC)CD 米国国立ガン研究機関(IARC) Scientific Publications.  
(Geneva, Switzerland) No. 1-26, 1971-78. For publisher information, see IAPUDO.  
[Vol.,頁,年] 4,100,1973

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 経口投与.  
被験動物 : げっ歯類-マウス.  
投与量・期間 : 150 mg/kg/6 週間間欠投与

毒性影響 : 催腫瘍性－RTECS 基準による催腫瘍性。  
肺, 胸郭, または呼吸に関する傷害－腫瘍。

-----文 献-----

TXAPA9 Toxicology and Applied Pharmacology. (Academic Press, Inc., 1 E. First St., Duluth, MN 55802). [Vol.,頁,年] 82,19,1986

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 腹腔内投与。  
被験動物 : げっ歯類-マウス。  
投与量・期間 : 6 mg/kg  
毒性影響 : 催腫瘍性－RTECS 基準による発ガン性  
肺, 胸郭, または呼吸に関する傷害－腫瘍。  
肝臓に関する傷害－腫瘍。

-----文 献-----

CRNGDP Carcinogenesis (London). (Oxford Univ. Press, Pinkhill House, Southfield Road, Eynsham, Oxford OX8 1JJ, UK). [Vol.,頁,年] 5,385,1984

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
被験動物 : げっ歯類-マウス。  
投与量・期間 : 30 mg/kg 雌 15-22 日間(交配後)  
毒性影響 : 催腫瘍性－RTECS 基準による催腫瘍性。  
生殖に関する傷害－催腫瘍性 : 経胎盤催腫瘍性  
皮膚と付属器官に関する傷害－腫瘍。

-----文 献-----

BEXBAN Bulletin of Experimental Biology and Medicine (English Translation). Translation of BEBMAE. (Plenum Pub. Corp., 233 Spring St., New York, NY 10013) [Vol.,頁,年] 82,1687,1976

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 経口投与。  
被験動物 : 霊長類サル。  
投与量・期間 : 168 mg/kg/6 年間継続投与  
毒性影響 : 催腫瘍性－RTECS の基準による「あいまいな証拠」に基づく催腫瘍物質  
肝臓に関する傷害－腫瘍。

-----文 献-----

JNCIAM Journal of the National Cancer Institute. (Washington, DC) V. 1-60, 1940-78. For publisher information, see JJIND8. [Vol.,頁,年] 57,67,1976

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量



曝露経路 : 多重の経路.  
被験動物 : 霊長類サル.  
投与量・期間 : 20 mg/kg/4 年間欠投与  
毒性影響 : 催腫瘍性－ RTECS の基準による「あいまいな証拠」に基づく催腫瘍物質  
胃腸に関する傷害-腫瘍.  
肝臓に関する傷害－腫瘍.

-----文献-----

JNCIAM Journal of the National Cancer Institute. (Washington, DC) V. 1-60, 1940-78.  
For publisher information, see JJIND8. [Vol.,頁,年] 57,67,1976

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 経口投与.  
被験動物 : げっ歯類-ハムスター.  
投与量・期間 : 60 mg/kg/6 週間間欠投与  
毒性影響 : 催腫瘍性－ RTECS 基準による発ガン性  
肝臓に関する傷害－腫瘍.

-----文献-----

JJIND8 JNCI, Journal of the National Cancer Institute. (Washington, DC) V.61-79,  
1978-87. For publisher information, see JNCIEQ. [Vol.,頁,年] 68,271,1982

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 経口投与.  
被験動物 : 鳥類 (家禽) -アヒル.  
投与量・期間 : 1260  $\mu$  g/kg/60 週間継続投与  
毒性影響 : 催腫瘍性－ RTECS 基準による発ガン性  
肝臓に関する傷害－腫瘍.

-----文献-----

NATUAS Nature. (Nature Subscription Dept., POB 1018, Manasquan, NJ 08736)  
[Vol.,頁,年] 208,308,1965

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
被験動物 : 両生類-カエル.  
投与量・期間 : 3 mg/kg/15 週間間欠投与  
毒性影響 : 催腫瘍性－ RTECS の基準による「あいまいな証拠」に基づく催腫瘍物質  
肝臓に関する傷害－腫瘍.

-----文献-----

NUCADQ Nutrition and Cancer. (Franklin Institute Press, POB 2266, Philadelphia,  
PA 19103. [Vol.,頁,年] 11,55,1988

試験方法 : TDL<sub>0</sub> (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 経口投与.  
被験動物種 : 哺乳動物-種未特定.  
投与量・期間 : 120 mg/kg/74 週間継続投与  
毒性影響 : 催腫瘍性－ RTECS 基準による発ガン性  
肝臓に関する傷害－腫瘍.

-----文 献-----

FEPR7 Federation Proceedings, Federation of American Societies for Experimental  
Biology. (Bethesda, MD). [Vol.,頁,年] 34,827,1975

試験方法 : TC 毒性用量試験.  
曝露経路 : 経口投与.  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量・期間 : 15 mg/kg/6 週間継続投与  
毒性影響 : 催腫瘍性－ RTECS 基準による発ガン性  
肝臓に関する傷害－腫瘍.  
腎臓・尿路・膀胱に関する傷害－腎臓腫瘍.

-----文 献-----

FCTXAV Food and Cosmetics Toxicology. (London, UK) V. 1-19, 1963-81.  
For publisher information, see FCTOD7. [Vol.,頁,年] 6,135,1968

試験方法 : TC 毒性用量試験.  
曝露経路 : 経口投与.  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量・期間 : 2000  $\mu$  g/kg/4 週間間欠投与  
毒性影響 : 催腫瘍性－ RTECS 基準による発ガン性  
肝臓に関する傷害－腫瘍.

-----文 献-----

CNREA8 Cancer Research. (Public Ledger Building, Suit 816, 6th & Chestnut Sts.,  
Philadelphia, PA 19106). [Vol.,頁,年] 31,1936,1971

試験方法 : TC 毒性用量試験.  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量・期間 : 1600  $\mu$  g/kg/20 週間間欠投与  
毒性影響 : 催腫瘍性－ RTECS 基準による催腫瘍性.  
催腫瘍性－適用部位の腫瘍.

-----文 献-----

CNREA8 Cancer Research. (Public Ledger Building, Suit 816, 6th & Chestnut Sts.,  
Philadelphia, PA 19106). [Vol.,頁,年] 31,1936,1971

試験方法 : TC 毒性用量試験.  
曝露経路 : 経口投与.  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量・期間 : 8400  $\mu$  g/kg/20 週間継続投与  
毒性影響 : 催腫瘍性 - RTECS 基準による発ガン性  
肝臓に関する傷害 - 腫瘍.

-----文 献-----

EXPEAM Experientia. (Birkhaeuser Verlag, POB 133, CH-4010 Basel, Switzerland)  
[Vol.,頁,年] 34,1069,1978

試験方法 : TC 毒性用量試験.  
曝露経路 : 経口投与.  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量・期間 : 8 mg/kg/20 週間間欠投与  
毒性影響 : 催腫瘍性 - RTECS 基準による発ガン性  
肝臓に関する傷害 - 腫瘍.  
腎臓・尿路・膀胱に関する傷害 - 腎臓腫瘍.

-----文 献-----

CNREA8 Cancer Research. (Public Ledger Building, Suit 816, 6th & Chestnut Sts.,  
Philadelphia, PA 19106). [Vol.,頁,年] 29,2206,1969

試験方法 : TC 毒性用量試験.  
曝露経路 : 経口投与.  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量・期間 : 2205  $\mu$  g/kg/21 週間継続投与  
毒性影響 : 催腫瘍性 - RTECS 基準による発ガン性  
肝臓に関する傷害 - 腫瘍.  
腎臓・尿路・膀胱に関する傷害 - 腎臓腫瘍.

-----文 献-----

CNREA8 Cancer Research. (Public Ledger Building, Suit 816, 6th & Chestnut Sts.,  
Philadelphia, PA 19106). [Vol.,頁,年] 29,1045,1969

試験方法 : TC 毒性用量試験.  
曝露経路 : 経口投与.  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量・期間 : 18 mg/kg/43 週間継続投与  
毒性影響 : 催腫瘍性 - RTECS 基準による発ガン性  
肝臓に関する傷害 - 血管肉腫.  
胃腸に関する傷害 - 結腸腫瘍.

-----文 献-----

JNCIAM Journal of the National Cancer Institute. (Washington, DC) V. 1-60, 1940-78.  
For publisher information, see JJIND8. [Vol.,頁,年] 55,107,1975

試験方法 : TC 毒性用量試験.  
曝露経路 : 経口投与.  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量・期間 : 1323  $\mu$  g/kg/63 週間継続投与  
毒性影響 : 催腫瘍性 - RTECS 基準による発ガン性  
肝臓に関する傷害 - 腫瘍.

-----文 献-----

CNREA8 Cancer Research. (Public Ledger Building, Suit 816, 6th & Chestnut Sts.,  
Philadelphia, PA 19106). [Vol.,頁,年] 47,1913,1987

試験方法 : TC 毒性用量試験.  
曝露経路 : 経口投与.  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量・期間 : 1500  $\mu$  g/kg/7 週間間欠投与  
毒性影響 : 催腫瘍性 - RTECS 基準による発ガン性  
肝臓に関する傷害 - 腫瘍.

-----文 献-----

CNREA8 Cancer Research. (Public Ledger Building, Suit 816, 6th & Chestnut Sts.,  
Philadelphia, PA 19106). [Vol.,頁,年] 35,2469,1975

試験方法 : TC 毒性用量試験.  
曝露経路 : 経口投与.  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量・期間 : 19 mg/kg/15 週間間欠投与  
毒性影響 : 催腫瘍性 - RTECS 基準による発ガン性  
肺, 胸郭, または呼吸に関する傷害 - 腫瘍.  
肝臓に関する傷害 - 腫瘍.

-----文 献-----

NEOLA4 Neoplasma. (Karger-Libri, P. O. Box, CH-4009 Basel, Switzerland)  
[Vol.,頁,年] 28,35,1981

\*\* 生殖に関するデータ \*\*

試験方法 : TDLo (最低投与量) - 最小毒性量  
曝露経路 : 経口投与.  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量 : 5 mg/kg  
雌雄投与期間 : 雌 16 日間(交配後)

毒性影響 : 生殖に関する傷害—胚または胎仔に対する影響: 胎仔毒性(死亡をのぞく。たとえば胎仔の発育阻害)。

-----文 献-----

BJEPA5 British Journal of Experimental Pathology. (Blackwell Scientific Pub. Ltd., POB 88, Oxford, UK). [Vol.,頁,年] 47,242,1966

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量

曝露経路 : 経口投与。

被験動物 : げっ歯類-ラット。

投与量 : 675  $\mu$  g/kg

雌雄投与期間: 雌 1-22 日間(交配後)

出産後 5 日の授乳雌

毒性影響 : 生殖に関する傷害: 母系影響: 分娩後。

-----文 献-----

IJEBA6 Indian Journal of Experimental Biology. (Publications & Information Directorate, CSIR, Hillside Rd., New Delhi 110 012, India). [Vol.,頁,年] 10,307,1972

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量

曝露経路 : 経口投与。

被験動物 : げっ歯類-ラット。

投与量 : 8100  $\mu$  g/kg

雌雄投与期間: 雌 1-22 日間(交配後)

出産後 5 日の授乳雌

毒性影響 : 生殖に関する傷害—受精能: その他の受精能の測定値。

-----文 献-----

IJEBA6 Indian Journal of Experimental Biology. (Publications & Information Directorate, CSIR, Hillside Rd., New Delhi 110 012, India). [Vol.,頁,年] 10,307,1972

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量

曝露経路 : 経口投与。

被験動物 : げっ歯類-ラット。

投与量 : 16 mg/kg

雌雄投与期間: 雌 6-13 日間(交配後)

毒性影響 : 生殖に関する傷害—受精能: 着床後死亡率(たとえば着床総数当たりの着床の死亡および/または吸収)。

生殖に関する傷害—胚または胎仔に対する影響: 胎仔毒性(死亡をのぞく。たとえば胎仔の発育阻害)。

生殖に関する傷害—胚または胎仔に対する影響: 胎仔の死亡。

-----文 献-----

TOSCF2 Toxicological Sciences. (Academic Press, 6277 Sea Harbor Dr., Orlando,

FL 32887). [Vol.,頁,年] 41,175,1998

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 腹腔内投与.  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量 : 2 mg/kg  
雌雄投与期間 : 雌 18-21 日間(交配後)  
毒性影響 : 生殖に関する傷害-新生仔への影響 : 生化学および代謝.  
生殖に関する傷害-新生仔への影響 : 離乳または乳汁分泌指数(たとえば, 離乳生産仔のうち 4 日目に生存した仔の数)

-----文献-----

JJIND8 JNCI, Journal of the National Cancer Institute. (Washington, DC) V.61-79, 1978-87. For publisher information, see JNCIEQ. [Vol.,頁,年] 64,1349,1980

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 腹腔内投与.  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量 : 10 mg/kg  
雌雄投与期間 : 雌 17-19 日間(交配後)  
毒性影響 : 生殖に関する傷害-新生仔への影響 : 生化学および代謝.

-----文献-----

BNEOBV Biology of the Neonate. (S. Karger Pub., Inc., 79 Fifth Ave., New York, NY 10003). [Vol.,頁,年] 33,283,1978

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 腹腔内投与.  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量 : 960  $\mu$  g/kg  
雌雄投与期間 : 雄 15 日間(交配前)  
毒性影響 : 生殖に関する傷害-父系影響 : 睾丸, 副睾丸, 精管

-----文献-----

TXCYAC Toxicology. (Elsevier Scientific Pub. Ireland, Ltd., POB 85, Limerick, Ireland). [Vol.,頁,年] 17,9,1980

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量 : 1200  $\mu$  g/kg  
雌雄投与期間 : 雌 11-14 日間(交配後)  
毒性影響 : 生殖に関する傷害-新生仔への影響 : 行動.

-----文献-----

TOLED5 Toxicology Letters. (Elsevier Science Pub. B. V., POB 211, 1000 AE Amsterdam, Netherlands). [Vol.,頁,年] 18(Suppl 1),113,1983

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 辜丸内投与.  
被験動物 : げっ歯類-ラット.  
投与量 : 200  $\mu$  g/kg  
雌雄投与期間 : 雄 1 日間(交配前)  
毒性影響 : 生殖に関する傷害-父系影響 : 辜丸, 副辜丸, 精管

-----文 献-----

TOLED5 Toxicology Letters. (Elsevier Science Pub. B. V., POB 211, 1000 AE Amsterdam, Netherlands). [Vol.,頁,年] 5,263,1980

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 経口投与.  
被験動物 : げっ歯類-マウス.  
投与量 : 4 mg/kg  
雌雄投与期間 : 雌 8 日間(交配後)  
毒性影響 : 生殖に関する傷害-特定の発育異常 : 中枢神経系.  
生殖に関する傷害-特定の発育異常 : 眼/耳  
生殖に関する傷害-特定の発育異常 : 体壁.

-----文 献-----

AVSCA7 Acta Veterinaria Scandinavica. (Danske Dyrlargeforening, Alhambravej 15, DK-1826 Copenhagen V, Denmark). [Vol.,頁,年] 22,524,1981

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 腹腔内投与.  
被験動物 : げっ歯類-マウス.  
投与量 : 5 mg/kg  
雌雄投与期間 : 雌 7-11 日間(交配後)  
毒性影響 : 生殖に関する傷害-受精能 : 着床後死亡率(たとえば着床総数当たりの着床の死亡および/または吸収).  
生殖に関する傷害-胚または胎仔に対する影響 : 胎仔の死亡.

-----文 献-----

NATUAS Nature. (Nature Subscription Dept., POB 1018, Manasquan, NJ 08736) [Vol.,頁,年] 215,638,1967

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 腹腔内投与.  
被験動物 : げっ歯類-マウス.

投与量 : 64 mg/kg  
雌雄投与期間 : 雌 6-7 日間(交配後)  
毒性影響 : 生殖に関する傷害—特定の発育異常 : 眼/耳  
生殖に関する傷害—特定の発育異常 : 頭骸と顔(鼻と舌を含む).

-----文 献-----

TJADAB Teratology, The International Journal of Abnormal Development. (Alan R. Liss, Inc., 41 E. 11th St., New York, NY 10003) [Vol.,頁,年] 24(1),25A,1981

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 腹腔内投与.  
被験動物 : げっ歯類-マウス.  
投与量 : 32 mg/kg  
雌雄投与期間 : 雌 10-11 日間(交配後)  
毒性影響 : 生殖に関する傷害—胚または胎仔に対する影響 : 胎仔毒性(死亡をのぞく. たとえば胎仔の発育阻害)

-----文 献-----

TJADAB Teratology, The International Journal of Abnormal Development. (Alan R. Liss, Inc., 41 E. 11th St., New York, NY 10003) [Vol.,頁,年] 24(1),25A,1981

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 腹腔内投与.  
被験動物 : げっ歯類-マウス.  
投与量 : 64 mg/kg  
雌雄投与期間 : 雌 10-11 日間(交配後)  
毒性影響 : 生殖に関する傷害—特定の発育異常 : 筋肉骨格系.

-----文 献-----

TJADAB Teratology, The International Journal of Abnormal Development. (Alan R. Liss, Inc., 41 E. 11th St., New York, NY 10003) [Vol.,頁,年] 24(1),25A,1981

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 経口投与.  
被験動物種 : 哺乳類 - ブタ.  
投与量 : 2722  $\mu$  g/kg  
雌雄投与期間 : 雌 60-114 日間(交配後)  
出産後 28 日の授乳雌  
毒性影響 : 生殖に関する傷害—新生仔への影響 : 成長統計(たとえば体重増加率の低下).  
生殖に関する傷害—新生仔への影響 : 生化学および代謝.  
生殖に関する傷害—新生仔への影響 : 身体

-----文 献-----



VIIMDS Veterinary Immunology and Immunopathology. (Elsevier Science, P. O. Box 945, 10159). [Vol.,頁,年] 62,245,1998

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 腹腔内投与.  
被験動物 : げっ歯類-ハムスター.  
投与量 : 4 mg/kg  
雌雄投与期間 : 雌 8 日間(交配後)  
毒性影響 : 生殖に関する傷害-受精能: 着床後死亡率(たとえば着床総数当たりの着床の死亡および/または吸収)  
生殖に関する傷害-胚または胎仔に対する影響: 胎仔の死亡.  
生殖に関する傷害-特定の発育異常: その他の発育異常.

-----文 献-----

NATUAS Nature. (Nature Subscription Dept., POB 1018, Manasquan, NJ 08736)  
[Vol.,頁,年] 215,638,1967

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 腹腔内投与.  
被験動物 : げっ歯類-ハムスター.  
投与量 : 4 mg/kg  
雌雄投与期間 : 雌 9 日間(交配後).  
毒性影響 : 生殖に関する傷害-胚または胎仔に対する影響: 胎仔毒性(死亡をのぞく. たとえば胎仔の発育阻害)  
生殖に関する傷害-受精能: 着床後死亡率(たとえば着床総数当たりの着床の死亡および/または吸収)

-----文 献-----

JCVPAR Journal of Comparative Pathology. (Academic Press, Inc., 1 E. First St., Duluth, MN 55802). [Vol.,頁,年] 90,339,1980

試験方法 : TDLo (最低投与量) -最小毒性量  
曝露経路 : 腹腔内投与.  
被験動物 : げっ歯類-ハムスター.  
投与量 : 4 mg/kg  
雌雄投与期間 : 雌 8 日間(交配後)  
毒性影響 : 生殖に関する傷害-特定の発育異常: 中枢神経系.  
生殖に関する傷害-特定の発育異常: 体壁.

-----文 献-----

ANYAA9 Annals of the New York Academy of Sciences. (New York Academy of Sciences, 2 E. 63rd St., New York, NY 10021). [Vol.,頁,年] 163,801,1969

\*\* 変異原性に関するデータ \*\*

試験方法 : 微生物突然変異試験.  
試験系 : 大腸菌 ネズミチフス菌, サルモネラ菌.  
投与量・期間 : 700 ng/plate

-----文献-----

AEMIDF Applied and Environmental Microbiology. (American Soc. for Microbiology, 1913 I St., NW, Washington, DC 20006) [Vol.,頁,年] 35,659,1978

試験方法 : 微生物突然変異試験.  
試験系 : 大腸菌 ネズミチフス菌, サルモネラ菌.  
投与量・期間 : 10 ng/plate

-----文献-----

FCTOD7 Food and Chemical Toxicology. (Pergamon Press Inc., Maxwell House, Fairview Park, Elmsford, NY 10523). [Vol.,頁,年] 22,355,1984

試験方法 : 変異原試験—通常の試験法.  
試験系 : 大腸菌 ネズミチフス菌, サルモネラ菌.  
投与量・期間 : 10  $\mu$  g/L

-----文献-----

MUREAV Mutation Research. (Elsevier Science Pub. B. V., POB 211, 1000 AE Amsterdam, Netherlands). [Vol.,頁,年] 192,239,1987

試験方法 : DNA adduct  
試験系 : 大腸菌 ネズミチフス菌, サルモネラ菌.  
投与量・期間 : 160 nmol/L

-----文献-----

PNASA6 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America. (National Academy of Sciences, Printing & Pub. Office, 2101 Constitution Ave., Washington, DC 20418). [Vol.,頁,年] 76,1343,1979

試験方法 : フェージ阻害能力試験.  
試験系 : 大腸菌 ネズミチフス菌, サルモネラ菌.  
投与量・期間 : 1  $\mu$  g/L

-----文献-----

ENMUDM Environmental Mutagenesis. (New York, NY) V. 1-9, 1979-87. For publisher information, see EMMUEG. [Vol.,頁,年] 1,121,1979

試験方法 : 変異原試験—通常の試験法.  
試験系 : 大腸菌 大腸菌.  
投与量・期間 : 5 pmol/tube

-----文 献-----

PNASA6 Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America. (National Academy of Sciences, Printing & Pub. Office, 2101 Constitution Ave., Washington, DC 20418). [Vol.,頁,年] 79,5971,1982

試験方法 : 微生物突然変異試験.

試験系 : 大腸菌 大腸菌.

投与量・期間 : 200  $\mu$  g/L

-----文 献-----

MUREAV Mutation Research. (Elsevier Science Pub. B. V., POB 211, 1000 AE Amsterdam, Netherlands). [Vol.,頁,年] 130,97,1984

試験方法 : DNA 修復試験.

試験系 : 大腸菌 大腸菌.

投与量・期間 : 2  $\mu$  g/well

-----文 献-----

ENMUDM Environmental Mutagenesis. (New York, NY) V. 1-9, 1979-87. For publisher information, see EMMUEG. [Vol.,頁,年] 3,429,1981

試験方法 : ファージ阻害能力試験.

試験系 : 大腸菌 大腸菌.

投与量・期間 : 10 ng/tube

-----文 献-----

MUREAV Mutation Research. (Elsevier Science Pub. B. V., POB 211, 1000 AE Amsterdam, Netherlands). [Vol.,頁,年] 89,1,1981

試験方法 : 微生物突然変異試験.

試験系 : バクテリア *Bacillus subtilis*

投与量・期間 : 10 mg/L

-----文 献-----

CMMUAO Chemical Mutagens. Principles and Methods for Their Detection. (Plenum Pub. Corp., 233 Spring St., New York, NY 10013). [Vol.,頁,年] 9,165,1984

試験方法 : DNA 修復試験.

試験系 : バクテリア *Bacillus subtilis*

投与量・期間 : 600 ng/disc

-----文 献-----

MUREAV Mutation Research. (Elsevier Science Pub. B. V., POB 211, 1000 AE Amsterdam, Netherlands). [Vol.,頁,年] 97,1,1982

試験方法 : D N A 損傷試験.  
試験系 : バクテリア *Bacillus subtilis*  
投与量・期間 : 6 gm/L

-----文 献-----

NATUAS Nature. (Nature Subscription Dept., POB 1018, Manasquan, NJ 08736)  
[Vol.,頁,年] 225,68,1970

試験方法 : 微生物突然変異試験.  
試験系 : 微生物(種は未特定).  
投与量・期間 : 9790  $\mu$  g/L

-----文 献-----

JMIMDQ Journal of Microbiological Methods. (Elsevier Science Pub. B. V., POB 211, 1000  
AE Amsterdam, Netherlands). [Vol.,頁,年] 3,181,1985

試験方法 : 微生物突然変異試験.  
試験系 : 微生物(種は未特定).  
投与量・期間 : 640 nmol/L

-----文 献-----

MUREAV Mutation Research. (Elsevier Science Pub. B. V., POB 211, 1000 AE Amsterdam,  
Netherlands). [Vol.,頁,年] 106,195,1982

試験方法 : 変異原試験—通常の試験法.  
試験系 : 微生物(種は未特定).  
投与量・期間 : 40  $\mu$  mol/L

-----文 献-----

MUREAV Mutation Research. (Elsevier Science Pub. B. V., POB 211, 1000 AE Amsterdam,  
Netherlands). [Vol.,頁,年] 107,23,1983

試験方法 : DNA adduct  
試験系 : 微生物(種は未特定).  
投与量・期間 : 220  $\mu$  mol/L

-----文 献-----

CNREA8 Cancer Research. (Public Ledger Building, Suit 816, 6th & Chestnut Sts.,  
Philadelphia, PA 19106). [Vol.,頁,年] 35,382,1975

試験方法 : D N A 損傷試験.  
試験系 : 微生物(種は未特定).  
投与量・期間 : 40  $\mu$  mol/L

-----文 献-----

MUREAV Mutation Research. (Elsevier Science Pub. B. V., POB 211, 1000 AE Amsterdam,